

# 「2 級総合実技テスト」 採点に関する解説

2 級の「総合実技テスト」では、保有している知識・スキルを状況に応じて発揮できるかどうか(ICT プロフィエンシー)を問いますので、例えば、上司の指示に従い、30 分以内に以下「成果物見本」のようなビジネスシーンで要求されるレベルの成果物を作成できるかどうかを問う問題が出題されます。

評価の観点は、①指示の理解と把握、②適切な操作、③ビジュアル(ビジネス現場で通用する見栄え・見易さ)について行われ、採点は、ヒューマングレーダー方式(人による採点)となっています。

## ■2級「総合実技テスト」成果物見本

### <作成概要>

- ① ビジネス上の課題が出題されます。  
(例. 上司からの指示により、30 分以内に、販売報告書を作成するなど)
- ② 表計算ソフトを起動し、販売データ等を集計しグラフを作成する。
- ③ ワードプロソフトを使って、文書を作成し、表計算ソフトで作成した表やグラフを貼り付ける。
- ④ 表やグラフを基に分析結果を作成する。(予め文章はデータで提供／文章力は問いません)
- ⑤ 全体のビジュアル(見栄え・見易さ)を整える。

(予め必要素材データは提供されます)

液晶テレビ販売実績 (12 月第 1 週) 報告書

表記について、下記の通りご報告致します。

記

■12月第1週実績  
液晶テレビ(中型)のメーカー別・画面サイズ別販売実績

会社 / 販売額	26インチ	32インチ	37インチ	42インチ	計
A社	7,888,000	3,730,000	8,204,000	458,000	18,118,000
B社	392,000	5,248,000	864,000		12,212,000
C社			11,392,000	5,232,000	22,284,000
D社			7,450,000	12,180,000	19,630,000
合計	7,980,000	12,804,000	28,510,000	17,848,000	67,122,000

液晶テレビ販売額

■分析結果  
12月は、年末商戦の最盛期で、液晶テレビなど高額家電製品の売上が伸びる月である。家庭用として人気がある中型サイズの液晶テレビの第1週目における販売状況は、総額で 〇〇 円と好調な売れ行きであった。  
メーカー別の販売額では、トップが 〇〇 で、次いで 〇〇 であった。ただし、画面サイズ別に見るとメーカーによって売れ筋に特徴があり、「26インチ」の販売額が最も多かったのは 〇〇 で、「42インチ」の販売額が最も多かったのは 〇〇 であった。

■12月2週目について  
第1週目の販売実績を参考に、第2週目は商品展示方法や販売価格の見直しにより更なる販売拡大を目指していく。

以上]

田中太郎 Excel 2010 と Word 2010

ICT プロフィエンシーとは、保有している知識やスキルを現実の状況の中で応用して、何らかの目的を持つ作業や仕事を遂行する能力のことです。

例えば、英語の分野では、現在進行形や過去完了形を見抜く知識を持っているということではなく、ホテルでチェックインができる、あるいはレストランでオーダーができるといったことを意味しています。

ICT 利活用の分野では、HTML のタグを知っている、表計算の SUM 関数を知っているということではなく、一般社員に解りやすいマニュアルを作成できる、営業会議に使用する営業実績報告書を作成できる、効率的なグループウェア活用方法の企画推進ができるなどといったことを意味します。

2012 年度より、2 級にプレゼンテーション実技テストが導入されたため、「総合実技テスト」は、ワープロ・表計算の組み合わせのみの出題となります。

## 「評価の観点／配点」と「評価内容」

「総合実技テスト」は、以下の「3つの観点」で評価します。  
記載されている評価内容は代表的な一例です。  
(合格基準：100点満点中60点以上の得点)

### <観点1／配点 20 点> 指示の理解と把握

与えられた課題や指示された業務を、正しく理解・把握しているかを判定します。

(評価内容)

表計算ソフトの場合
シート名、ファイル名、保存形式、その他、指示通りであるか
誤字・脱字はないか
ワープロソフトの場合
発信日付、宛先、発信者、ヘッダー、フッター、ファイル名、保存形式、その他、指示通りであるか
誤字・脱字はないか

### <観点2／配点 30 点> 適切な操作

指示された「アプリケーション操作」が適切であったかどうかを判定します。

(評価内容)

表計算ソフトの場合
計算式、罫線、グラフ、ピボットテーブル、ピボットグラフ、その他、指示通りの適切な操作であるか
ワープロソフトの場合
表やグラフ、ピボットテーブルやピボットグラフなどが、正しい位置に指示通りの形式で貼り付けられているか、その他、指示通りの適切な操作であるか

### <観点3／配点 50 点> ビジュアル(見栄え)成果物の見やすさ

社外に提出しても良いレベルのビジュアル・見やすさであるかを判定します。

(評価内容)

表計算ソフトの場合
フォントサイズ、列幅、位置揃え、表示形式、桁区切り、項目行、罫線、グラフタイトル、凡例、数値軸ラベルなどが適切で見やすいか
ワープロソフトの場合
タイトルが分かりやすく表示されているか、発信日付・宛先・発信者などの配置が適切か、「以上」は右寄せになっているか、字下げが設定されているか、文字が隠れていないか、その他、指示通りで且つ見やすくなっているか
A4一枚に収まっているか、印刷範囲からはみ出していないか、不要なものはないか
色使い、貼り付け物の大きさと縦横比と見やすさ、フォントサイズ、余白、行間、位置揃え、レイアウトの天地バランスなどは適切で見やすいか
応用力加点項目
色の使い方、表を見やすくまたはグラフの理解を助ける手段、フォントの使い方、テキストデータの配置などについて、優れた工夫が見られるか